

株式会社レスターホールディングス  
2019年4月1日始動

Restar Holdings Corporation  
Started on April 1, 2019

■両社ビジネスの統合

UKCの「半導体及び電子部品事業」とバイテックの「デバイス事業」  
UKCの「電子機器事業」とバイテックの「計測機器事業」

■ホールディングス・管理機能の統合

たすき掛けのない新組織への一本化

■国内・海外拠点の集約

2019年8月末で5拠点完了

■デバイス・電子機器事業

ビジネス拡大と技術補完のための資本業務提携

■新電力事業

卒FIT分野での新サービス提供に向けた業務提携

■植物工場事業

業務用市場での拡大に向けた資本業務提携

# 広がる 事業領域

太陽光・風力発電所の  
運営

完全閉鎖型  
植物工場

電力  
コンサルティング

NFC（近距離無線技術）  
応用製品の開発・製造販売

特殊な測定技術に基づく  
アプリケーション提供

放送・映像機器等の  
設計・施工・保守

電子機器受託製造  
サービス

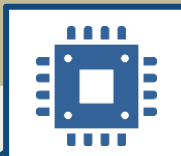
エレクトロニクス商材の  
販売・技術サービス

パートナー企業との  
共創

調達トレーディング  
サービス

調達付帯業務  
受託サービス

多様な事業展開  
更なる規模の拡大



# パートナー企業との共創

技術

対応力の向上・新たな価値創造

多数のソフトウェアエンジニアを擁し、  
幅広い情報サービス業を営む「PCIグループ」との共創

産学

計測機器・植物工場における新展開

大学との共同研究開発の加速

世界

あらゆるニーズに対応できるネットワークの確立  
新規の市場開拓

海外ディストリビューターとの協業進展

広がる事業領域

世界の場で活躍する  
エレクトロニクス総合商社へ

# 株式会社レスターホールディングス

2020年3月期第1四半期  
決算補足説明資料

2019年9月10日



# 2020年3月期第1四半期 連結業績



# 業績ハイライト

(単位：百万円)	2019年3月期 1Q (※)		2020年3月期 1Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減金額	増減率
売上高	93,962	—	106,973	—	13,010	13.8%
売上総利益	6,579	7.0%	6,878	6.4%	299	4.6%
販管費	4,616	4.9%	5,262	4.9%	645	14.0%
営業利益	1,952	2.1%	1,616	1.5%	△336	△17.2%
経常利益	1,717	1.8%	3,974	3.7%	2,257	131.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,299	1.4%	3,488	3.3%	2,189	168.5%

※2019年3月期 1Qは、U K Cとバイテックの単純合算

売上高：半導体及び電子部品事業と調達事業で車載・民生機器を始めとした成長領域の取込みが堅調に推移

営業利益：経営統合による拠点統合やコストの徹底見直しを実施

経営統合におけるのれんの償却額286百万円（暫定）を販管費に計上

2019年3月期 1Qにおいて発生した過年度貸倒引当金回収479百万円（販管費の戻入）の縮小

経常利益／親会社株主に帰属する四半期純利益：

2019年5月13日に開示した「株式の取得（持分法適用化）に関するお知らせ」に関する

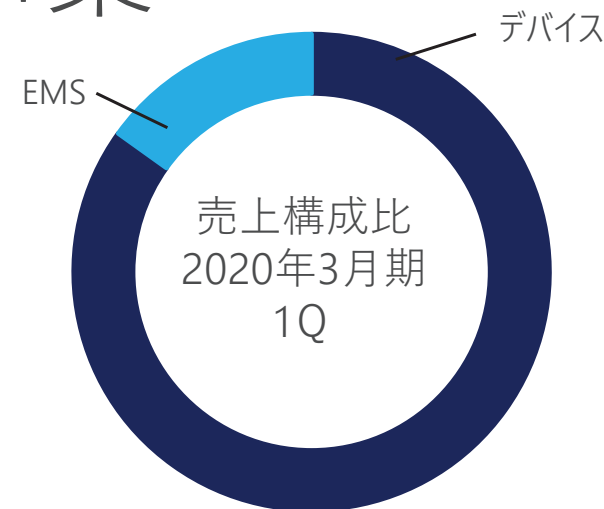
持分法による投資利益2,901百万円（営業外収益）の発生





# 半導体及び電子部品事業

(百万円)	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比	
	1Q (※)	1Q	増減金額	増減率
売上高	75,606	80,687	5,081	6.7%
セグメント利益	1,708	1,163	△544	△31.9%



※2019年3月期1QにおけるU K Cの「半導体及び電子部品事業」及び「信頼性試験／分析サービス事業」並びにバイテックの「デバイス事業」（計測機器事業を除く）の合算値

## ■デバイス事業

- ・2019年4月1日付、デバイス事業の統合により、経営統合のシナジーを実現  
→顧客・商品ラインナップ拡大による大手電機メーカーの需要の取込みや、拠点の統合・コストの圧縮
- ・スマートフォンの需要減やメモリの価格低下
- ・過年度貸倒引当金回収（販管費の戻入）の縮小及び一部在庫の評価減発生

## ■EMS事業

- ・海外での情報通信端末向けのディスプレイ関連需要を取込み好調に推移

12月決算である海外子会社の決算期を3月決算に統一：2020年3月期1Qには対象会社の2019年1月から3月の業績を含む  
(決算期変更に伴う影響額は売上高8,946百万円、セグメント利益249百万円)

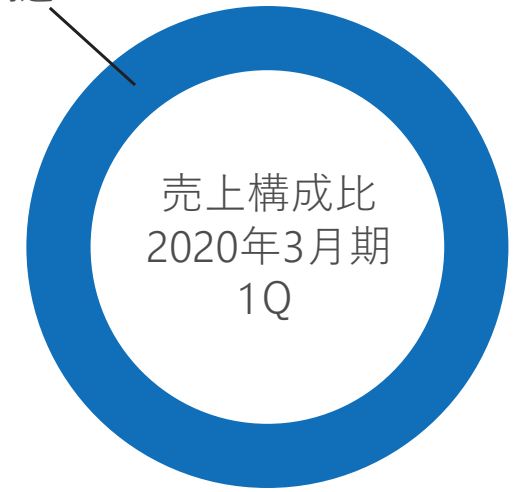


# 調達事業

(百万円)	2019年3月期 1Q (※)	2020年3月期 1Q	前年同期比	
	金額	金額	増減金額	増減率
売上高	13,015	19,696	6,680	51.3%
セグメント利益	81	146	64	79.3%

※2019年3月期1Qにおけるバイテックの「調達事業」の値

調達

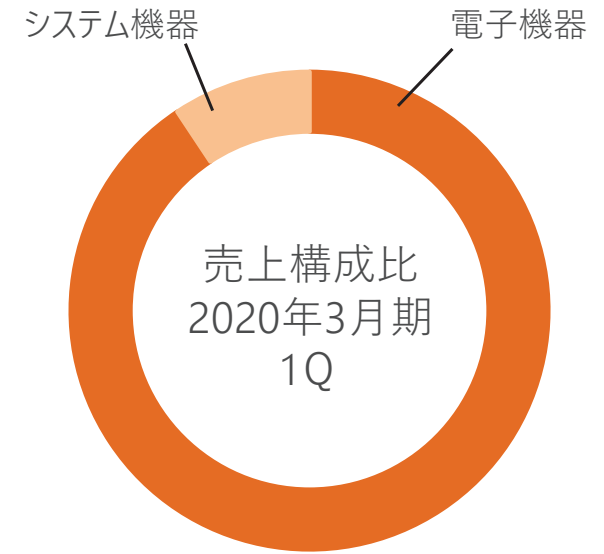


## ■ 調達事業

- ・パナソニックグループとの協業の定着と強化により、取引件数及び取扱量が増加
- ・円高／ドル安基調による収益への影響は僅少
- ・グループ間シナジーの創出（デバイス事業との連携）により、新たな顧客への展開や共通オペレーションの効率化といった新規取組みに着手

# 電子機器事業

(百万円)	2019年3月期 1Q (※)	2020年3月期 1Q	前年同期比	
	金額	金額	増減金額	増減率
売上高	3,700	4,314	613	16.6%
セグメント利益	△238	△125	112	—



※2019年3月期1QにおけるU K Cの「電子機器事業」及び「非接触ICカード関連事業」並びに  
バイテックの「計測機器事業」の合算値

## ■電子機器事業

- ・オリンピックに向けて放送局や編集スタジオが進める4 K / 8 K 等への設備切替えによる需要増
- ・施工や保守まで含めた高付加価値ビジネスの拡大やコストの徹底的な見直し

## ■計測機器事業

- ・電波、環境関連の計測機器が堅調に推移

## ■システム機器事業

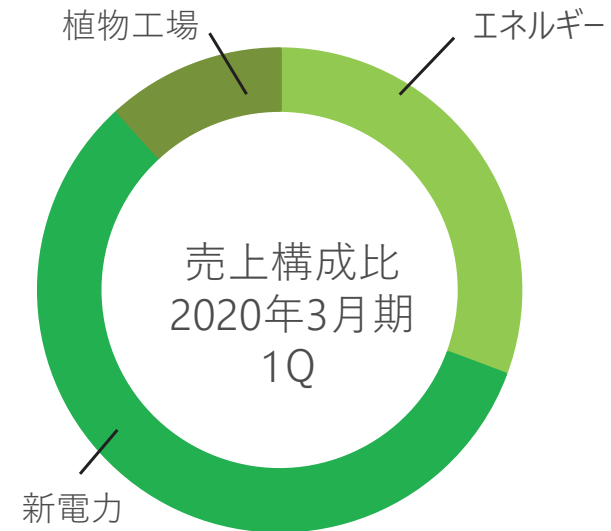
- ・決済用キャッシュレス端末やオフィス向けセキュリティ製品が好調に推移

※本事業は、期末に売上高が集中する傾向にあるものの、セグメント損失は大きく改善

# 環境エネルギー事業

(百万円)	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比	
	1Q (※)	1Q	増減金額	増減率
	金額	金額		
売上高	2,630	3,067	436	16.6%
セグメント利益	440	624	183	41.7%

※2019年3月期1Qにおけるバイテックの「環境エネルギー事業」の値



## ■エネルギー事業

- ・新規太陽光発電所向けのパネルや部材販売が大きく伸長
- ・太陽光発電の運営・メンテナンスを内製化したことで、発電効率改善と販管費圧縮を実施

## ■新電力事業

- ・電力卸市場への依存度を下げ、仕入れコストの低減策を実施
- ・地域地産地消モデルの新たな枠組みとして卒FITを活用したビジネスモデルを展開

## ■植物工場事業

- ・自社工場（全5カ所）にてGLOBALG.A.P.を取得し、安全衛生品質を向上
- ・大手コンビニエンスストアをはじめとした業務用市場への販売を強化

# 2020年3月期 通期見通し及び進捗率



# 通期見通し及び進捗率

(単位：百万円)	2020年3月期1Q	2020年3月期通期 (見通し)	進捗率
	金額	金額	
売上高	106,973	410,000	26.1%
営業利益	1,616	8,000	20.2%
経常利益	3,974	6,500	61.1%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	3,488	4,000	87.2%

- ・各セグメントとも前年同期比（1Q）で増収となり堅調に推移  
米中貿易摩擦や日韓問題の影響などにより不透明な状況が続くものの、  
経営統合シナジーの創出を見込み、現時点では通期業績見通し変更せず
- ・経営統合による「のれん償却額」297百万円（暫定）を販管費に計上
- ・本年5月に行った菱洋エレクトロ(株)の株式取得に掛かる「持分法による投資利益」  
2,901百万円が発生（営業外収益） ⇨ 経常利益以下が大きく進捗

2020年3月期1Qで暫定的に計上している経営統合に掛かるのれんの確定額、半導体及び電子部品事業における仕入先（中華映管股份有限公司）の会社更生手続の申立てによる影響については、詳細が確定次第お知らせいたします。



# 株主還元方針

## 総還元性向※：50%以上

※配当及び自己株買いによる株主還元の合計金額を純利益で除した指標

- ・中期的に安定的かつ継続的な配当の維持
- ・将来の成長に向けての戦略投資を積極的に実施することで、  
更なる利益の拡大・継続的な資本効率等の改善と向上を実現

▼（参考）2020年3月期 配当予想 ※配当性向60.1%

	1株当たり配当金（円）		
基準日	第2四半期	期末	合計
配当予想 (2020年3月期)	35円00銭	45円00銭 (普通配当35円00銭) (記念配当10円00銭)	80円00銭 (普通配当70円00銭) (記念配当10円00銭)



# TOPICS





# エネルギー事業

国内・海外展開による  
更なる事業の拡大



17都道府県 TTL45カ所  
124MW

※2019年6月末時点

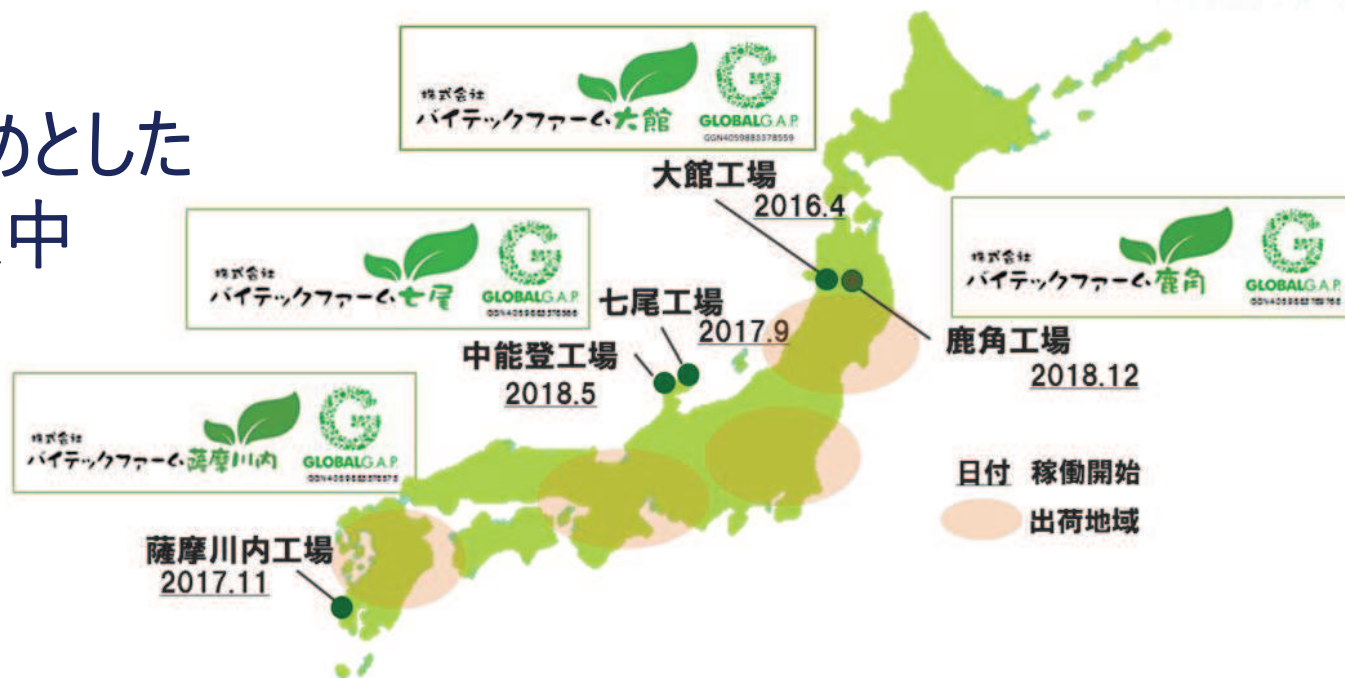
2019年度 新規増設を予定

# 植物工場事業

- ▷ 全5カ所の全ての工場で農業の国際規格GLOBALG.A.P. (Good Agricultural Practice) ※を取得

※GLOBALG.A.P.とは、食の安全と持続可能な生産活動を実行する優良企業に与えられる世界共通ブランド

- ▷ コンビニエンスストアを始めとした業務用市場へ販売を集中



# パートナー企業との共創

年月	事項
2018年 6 月	従来より、植物工場事業のシステム開発などで協業関係にあったPCIホールディングス(株) (「PCI」) と資本業務提携契約を締結
2018年 9 月	当社孫会社のVSE(株)株式の一部をPCIへ譲渡し合弁化 ※「技術領域と機能の拡充」及び「技術連携による新たな事業の創造」等のシナジーを発揮
2019年 5 月	当社子会社の(株)インフィニテック株式の一部をPCIへ譲渡し合弁化 ※各社の更なる企業価値向上を目指し、提携を強化

## PCIグループと技術領域での協業を深め、更なる提携強化 ＜開発力の強化、事業領域の拡大、更なる企業価値の向上＞

▷PCIホールディングス(株)

エンベデッドソリューション事業、ビジネスソリューション事業、IoT/IoEソリューション事業、半導体トータルソリューション事業を主とした情報サービス業を展開。「IoT/IoE社会 = Connected World」への橋頭堡構築を推進。



# 社会貢献

2019年7月14日  
デリシャスマイル杯開催



## 【デリシャスマイル杯への支援】

当社では、一般社団法人東京都レスリング協会をはじめとする関係団体の協力を得ながら、デリシャスマイル杯のスポンサーとして本大会を支援しております。

本大会は、大学女子レスリングの普及発展を目的とし、トップ選手の育成並びにオリンピックに向けてのステップとなる大会としても注目されております。

※デリシャスマイルとは、当社グループ会社である、(株)バイテックベジタブルファクトリーが運営する植物工場産野菜のブランド名です。



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



株式会社レスターホールディングスは  
SDGsを支援しています。



# APPENDIX



# 事業内容

半導体及び  
電子部品事業

## 半導体・電子部品

- ・国内外の最先端デバイス及びエネルギー・環境関連商材の販売
- ・幅広い商品群と高度なサポート、技術サービスによるソリューション提案

半導体及び  
電子部品事業

## 信頼性試験・環境物質分析サービス

- ・デバイスや電気電子製品等に対する各種評価試験及び有害物質化学分析

半導体及び  
電子部品事業

## システムエンジニアリング

- ・センサー技術をはじめとした半導体及びLSI設計、評価、テストサービス



# 事業内容

半導体及び  
電子部品事業

## EMS

- ・ 自社工場における有機ELパネル向け部材等の実装及びそれに伴う購買、生産管理、品質保証

調達事業

## 調達

- ・ 顧客ニーズにマッチしたグローバルな調達トレーディングサービス
- ・ 調達関連のアウトソーシングを請け負う調達付帯業務受託サービス





# 事業内容

電子機器事業

## 電子機器

- ・放送、映像、音響、通信機器の設計、施工、保守
- ・最先端の映像、音声、データ処理技術によるソリューションの提供

電子機器事業

## 計測機器

- ・特殊な測定技術、利用技術、システム技術・設計ノウハウ等のアプリケーション提供
- ・修理、計測校正サービス等の研究、開発、販売サポート

電子機器事業

## システム機器

- ・FeliCaを始めとしたNFC（近距離無線通信）技術の応用製品開発、製造販売





# 事業内容

環境  
エネルギー事業

## 再生可能エネルギー

- ・太陽光発電所、風力発電所等による再生可能エネルギーの導入、地域普及に向けた運営管理サービス

環境  
エネルギー事業

## 新電力

- ・再生可能エネルギーを中心とした電力の供給、売買の仲介、電力コンサルティングによる総合エネルギーのマネジメント

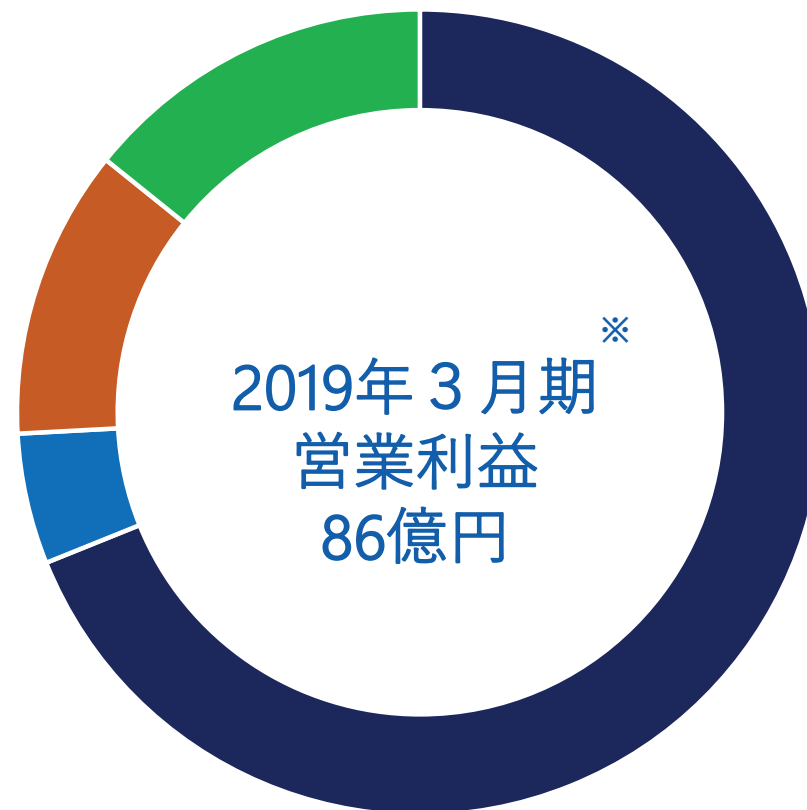
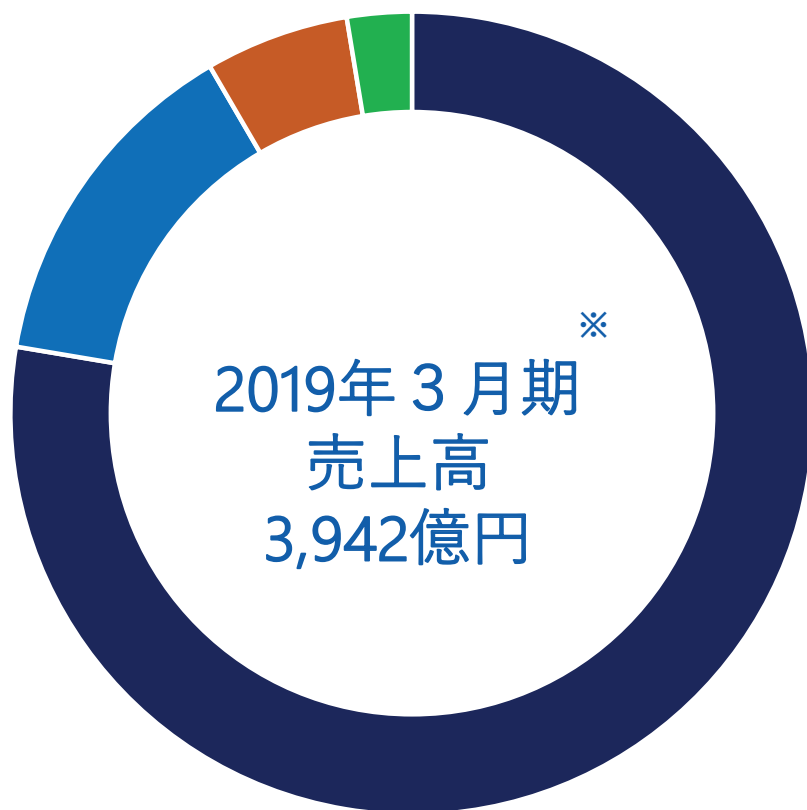
環境  
エネルギー事業

## 植物工場

- ・コンビニエンスストア、外食チェーン等の業務用市場へ向けた完全閉鎖型の植物工場産野菜の製造・販売



# セグメント構成比

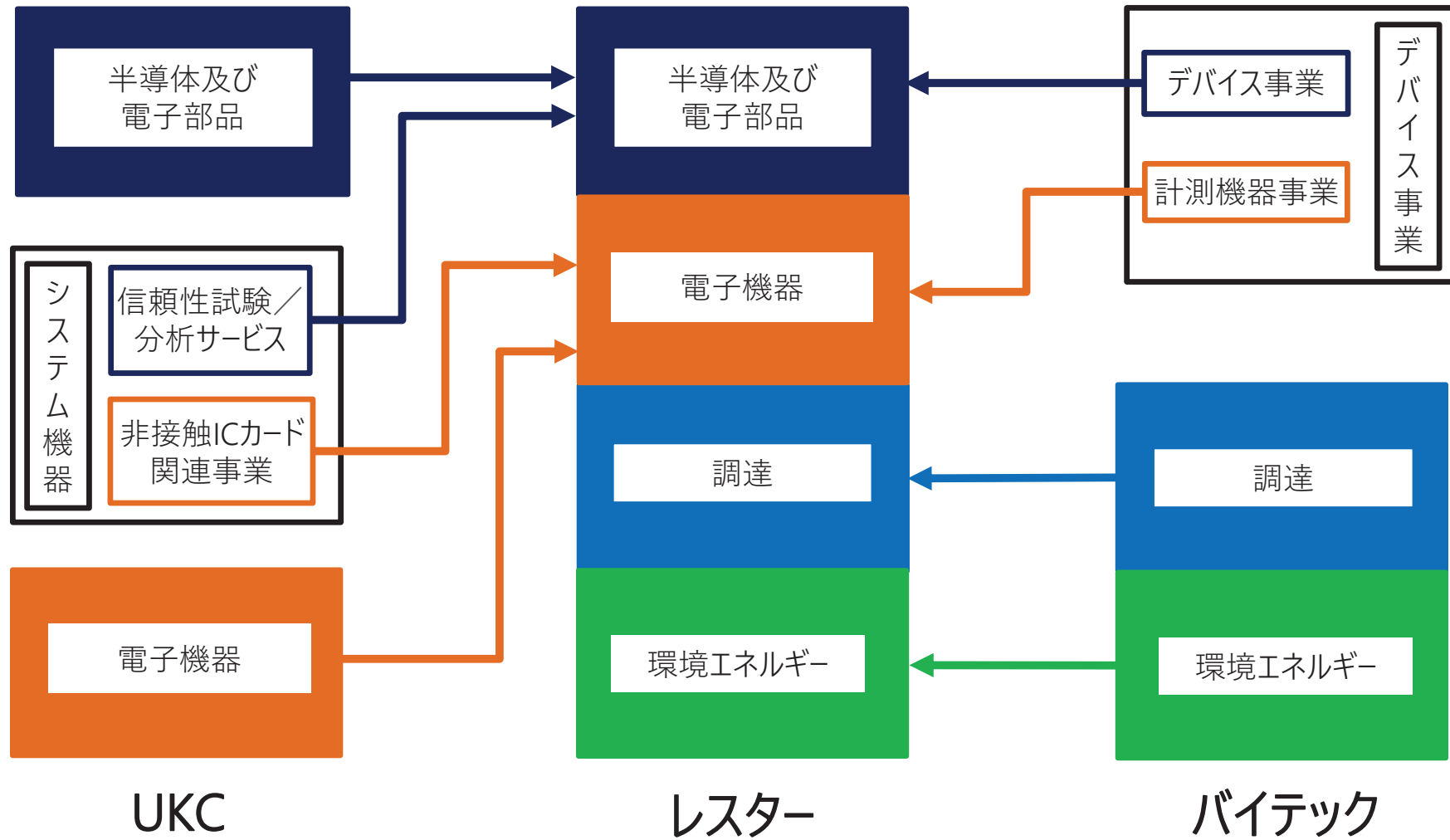


■ 半導体及び電子部品 ■ 調達 ■ 電子機器 ■ 環境エネルギー

※両社の2019年3月期通期の数値を新たなセグメントに組替えております



# セグメント組替図



# 売上高推移

(単位：百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	レスター 2020年3月期予想
U K C	273,752	301,449	205,771	410,000
バイテック	138,841	185,883	188,519	
合計	412,593	487,332	394,290	

※UKCとバイテックの単純合算



# 連結損益計算書 (2019年3月期)

## ▽株式会社UKCホールディングス

	第9期 自2017年4月1日 至2018年3月31日	第10期 自2018年4月1日 至2019年3月31日	前年 同期比
売上高	301,449	205,771	▲ 95,678
営業利益	4,384	4,508	124
経常利益	3,908	4,198	290
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,129	2,192	63

## ▽株式会社バイテックホールディングス

	第31期 自2017年4月1日 至2018年3月31日	第32期 自2018年4月1日 至2019年3月31日	前年 同期比
売上高	185,883	188,519	2,636
営業利益	3,130	4,137	1,006
経常利益	2,573	2,789	226
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,840	1,761	▲ 79



# 連結貸借対照表

【単位：百万円】

(単位：百万円)	2019年3月末 (※)	2019年6月末
資産の部		
流動資産	147,194	145,945
固定資産	31,973	59,427
資産合計	179,166	205,372
負債純資産の部		
流動負債	102,982	112,839
固定負債	18,656	19,322
純資産	57,529	73,211
負債純資産合計	179,166	205,372
自己資本比率	—	34.1%
BPS (円)	—	2,331.98

※2019年3月末の数値は、U K Cとバイテックの単純合算



# レスターグループ 経営理念

## ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、  
社会の発展に貢献します

## ビジョン

あらゆるニーズに対応できる  
エレクトロニクス総合商社を目指します  
世界・社会貢献・共創と革新

## バリュー

- ・多様な考えを受け入れ共創を通じて新しい文化や価値を創り出します
- ・常に高い目標を掲げて革新的な発想と情熱で挑戦し続けます
- ・活躍の場を世界へと広げ持続可能な社会の発展に貢献します



## <お問い合わせ先>

広報・CSR・IR部 高嶋、吉田、渡邊

Mail to : [irpr@restargp.com](mailto:irpr@restargp.com)

---

### <将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

